

当社グループは、10年後の創業110周年に向けた長期ビジョン「Vision 110」を策定しました。目指す姿「医療ニーズに応える価値の高い新薬を継続的に提供する新医薬品事業を中核に据え、健康関連事業を複合的に展開し、人々の健康に幅広く貢献する企業」の実現に向け、事業戦略を推進していきます。

長期ビジョン

Vision 110

創業110周年に向けたビジョン

目指す姿

医療ニーズに応える価値の高い新薬を継続的に提供する新医薬品事業を中核に据え、健康関連事業を複合的に展開し、人々の健康に幅広く貢献する企業

期間

2023年度 - 2032年度(10年間)

中期経営計画

Stage1

2023—2025年度

Stage2

2026—2029年度

Stage3

2030—2032年度

長期ビジョン「Vision 110」は、最終年度までの期間を3つのステージに分け、目標達成に取り組みます

中期経営計画

Vision 110の実現に向けた事業体制への変革

Vision 110

Stage 1

中期経営計画「Vision 110 -Stage1-」では、Statementに「Vision 110の実現に向けた事業体制への変革」を掲げ、以下の5つの事業戦略を推進し、成果目標の達成とステークホルダーの皆様からの支持・評価の向上を目指します

- 1 医療ニーズに応える価値の高い新薬の創出力強化
- 2 導入による開発パイプラインの拡充
- 3 新薬比率の最大化
- 4 新医薬品事業と相乗効果のある健康関連事業の推進
- 5 持続可能な企業基盤の構築

中期経営計画戦略イメージ	Stage1 (2023—2025年度)	Stage2, 3
新医薬品事業	<p>創薬</p> <p>医療ニーズに応える価値の高い新薬の創出力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新たな創薬戦略による創薬イノベーションへの挑戦 <p>体制刷新 長期の視点で継続的な新薬創出を実現する</p>	➡➡
	<p>導入</p> <p>導入による開発パイプラインの拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 導入品獲得力の大幅な強化 ● DTx開発の推進 <p>資源重点投入 パイプラインを強化する</p>	➡➡
	<p>営業・SCM・信頼性保証</p> <p>新薬比率の最大化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新薬の普及最大化 ● 高品質な医薬品の安定供給 <p>収益のドライバー 収益を最大化する</p>	➡➡
健康関連事業	<p>後発医薬品事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 後発医薬品事業の持続成長の実現 ● 医薬品生産能力の強化と製造原価の低減 	➡➡
	<p>その他事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 感染関連事業の推進 	➡➡

成果目標(2025年度)

数値目標(連結ベース)

成長性	売上高平均成長率(CAGR)	2.0%以上
収益性	研究開発費控除前営業利益率 (営業利益+研究開発費)	16.0%以上

資本政策と株主還元

資本政策は、健全な財務基盤を維持しつつ、常に資本コスト・資本収益性を意識した上で、成長投資と株主還元を通じて、資本効率の向上を図ることを基本方針とします。株主還元は、DOE(株主資本配当率)を勘案して、安定した配当を継続します。

1 医療ニーズに応える価値の高い新薬の創出力強化

新たな創薬戦略による創薬イノベーションへの挑戦

- 薬剤貢献度の低い疾患に対する創薬に加え、課題がある既存治療に対しては新規技術による創薬に取り組む
- 創薬技術と疾患研究との組み合わせにより、価値の高い新薬を創出する
- 創薬技術については、低分子創薬に加え、核酸創薬と外部新規技術を活用する
- 疾患研究については、肺線維症、免疫・炎症性疾患、その他疾患を注力領域として取り組む

2 導入による開発パイプラインの拡充

導入品獲得力の大幅な強化

- 導入対象となるモダリティ、疾患領域を拡大し、幅広い導入活動を展開する
- 資金及び人的資源の投入を増大する

DTx開発の推進

- 耳鼻科領域における治療用アプリ開発を着実に推進する

3 新薬比率の最大化

新薬の普及最大化

- リアル面談を軸にディテールのインパクトを高め、新薬の成長を最大限に加速する

高品質な医薬品の安定供給

- 製品・原材料などの調達・管理(サプライチェーンマネジメント)を強化する
- GQP^{※1}を遵守した品質マネジメントを強化する
- 新たなモダリティに対応した品質管理体制、サプライチェーンを適切に構築する

4 新医薬品事業と相乗効果のある健康関連事業の推進

後発医薬品事業の持続成長の実現

- 新規追補品の開発力を高いレベルで維持し、新規追補品を中心に成長を加速する
- グループ外を含め生産・調達体制を強化し、安定供給につとめる
- 事業環境に対応できる低コスト体制を構築する

医薬品生産能力の強化と製造原価の低減

- 高岡工場の確実な稼働と各工場の全体最適化により、生産能力を最大化する
- GMP^{※2}のレベルアップにより信頼性の向上と安定生産の維持を図る
- 継続的な改善活動に取り組み、原価低減を実現する

感染関連事業の推進

- 診断事業はIVD^{※3}領域を中心に普及最大化を図るとともに、将来の発展に向けた事業構想を立案する
- ルビスタ及びミルトンブランド製品の普及を推進する

複合的な事業展開を支える信頼性保証体制の強化

- 薬事に関する法令遵守体制を強化する
- 信頼性保証を取り巻く環境変化への迅速かつ確実な対応を推進する

5 持続可能な企業基盤の構築

コスト競争力の向上

- 事業環境の変化に対応するために、グループ全体のコスト適正化を推進する

人的資本の充実

- Vision 110の実現を担う人材を育成・獲得する
- 新たな人事制度に改定し、社員の働きがいを高める
- 多様な考え方に応えられる働き方改革を推進する
- 健康経営の取り組みを推進し、社員の健康維持・増進に取り組む

環境、コンプライアンス、ガバナンス等への対応

- 2030年のCO₂排出量削減目標を設定し、達成に向けて着実に取り組みを進める
- 全ての法令・行動規範及びその精神を遵守し、高い倫理観をもってコンプライアンスを徹底する
- コーポレートガバナンス強化に取り組む
- ステークホルダーに対する適切な対応を推進する

※1 GQP: 医薬品等の品質管理の基準
 ※2 GMP: 医薬品等の製造管理及び品質管理の基準
 ※3 IVD: 体外診断用医薬品